

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	休眠預金等活用に関する調査等に必要経費			担当部局庁	政策統括官(経済社会システム)	作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	休眠預金等活用担当室	参事官 松下 美帆	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律			関係する計画、通知等	・経済財政運営と改革の基本方針2019・2020 ・休眠預金等交付金に係る資金の活用に関する基本方針(平成30年3月30日内閣総理大臣決定) ・2020年度休眠預金等交付金活用推進基本計画(令和2年2月18日内閣総理大臣決定、令和2年5月21日一部改正) ・拡大版SDGsアクションプラン2019、SDGsアクションプラン2020		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号。以下「法」という。)により、法に基づき設置された休眠預金等活用審議会(以下「審議会」という。)において、基本方針及び基本計画の審議をすることになっている他、内閣総理大臣が指定活用団体に對し、民間公益活動促進業務に關し監督上必要な命令をすることとなっている。これを踏まえ、審議会における議論及び指定活用団体に関する適切な監督に資するために、休眠預金等の活用に必要調査を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・休眠預金等活用制度の理解をより深めるため、社会課題の解決に休眠預金等を活用する国や地域から関係者を招いて休眠預金等活用国際シンポジウムを開催し、今後の課題等を議論・共有した。 ・休眠預金等活用制度では、様々な主体の連携・協働による支援が期待されている。社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の事例としてアメリカ・カナダの先進事例を調査した。						
実施方法	直接実施、委託・請負						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	32	44	29	25	45
	執行額	14	24	27			
	執行率(%)	44%	55%	93%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	44%	55%	93%				
令和2・3年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由			
	市民活動促進等調査費	24	44	(要望額 20) 休眠預金等活用制度を周知し、潜在的な担い手が全国各地に広がるよう、地方シンポジウムを開催するとともに、その内容を幅広い年齢層に訴求するための地域の新聞を通じた広報、オンラインを活用した情報発信を行うための経費			
	庁費	0.8	0.8				
	職員旅費	0.2	0.2				
	計	25	45				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績					
	<p>本調査は、審議会での議論及び指定活用団体の適切な監督に資するために行うものであり、直接的な成果を求めるものではなく、定量的な成果目標を設定することは適さない。</p>			<p>定性的な目標：基本計画策定等に向けた審議会での議論の推進</p> <p>平成29年度：社会的事業に対する資金提供実態に関する調査、ICTを活用した社会的インパクト評価ツールに関する先行事例調査等を実施。基本方針の決定（平成30年3月30日内閣総理大臣決定）に当たって活用された。</p> <p>平成30年度：我が国の社会的事業に対する資金的及び非支援的支援の実態に関する調査、社会課題の解決に寄与する活動に対する資金提供に関する海外調査等を実施。2019年度基本計画に盛り込む2019年度の本制度の運用方針に活用された。</p> <p>令和元年度：休眠預金等活用国際シンポジウム及び社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査等を実施。2020年度基本計画に盛り込む2020年度の本制度の運用方針に活用された。</p>					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
	基本計画の策定等について審議会で議論を行う	審議会の開催	実績	回	12	7	6	-	-
			目標値	回	10	12	6	-	-
			達成度	%	120	58	100	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込
	基本計画等の策定について審議会での議論に資する調査の実施件数	活動実績			3	3	3	-	-
		当初見込み				2	6	3	3
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	執行額／調査数	単位当たりコスト			5	8	9	8	
		計算式				/	14/3	24/3	27/3
政策評価、新経済・財 政再生計画との関係	政策	3. 経済財政政策の推進							
	施策	⑦民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する制度の運用							
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	休眠預金等の活用には当たっては、透明性の確保や多様な意見が適切に反映されるように配慮されるべきであり、審議会での十分な議論を行う必要がある。その議論に資するため調査であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	政府が審議会での議論を踏まえて基本計画を策定することとなり、そのための調査を行うもので、国が実施することが適当である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	基本計画の策定等について審議会での議論に資するための調査を行うための経費であり、休眠預金等の活用に当たり必要な優先度の高い事業である。			

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、一般競争入札による入札を実施し、競争性の確保やコストの低減に努めている。 ・随意契約に関しては、価格の妥当性の検証に努め、随意契約審査委員会において契約内容などの事前審査を行うなど、適正性を確保している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	会計部署の定める規則等に基づいて実施した入札により支出先を選定しているため、単位当たりコスト等の水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	休眠預金等活用国際シンポジウム及び社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査等の実施に必要な経費等に限定されている。
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	入札時の仕様書作成に当たっては、真に必要なものに限り、多くの事業者が入札に参加できるような業務とする等により、競争性の確保やコストの低減に努めている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	仕様書どおりに業務が実施されており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	休眠預金等活用国際シンポジウム及び社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査等を実施し、2020年度基本計画に盛り込む2020年度の本制度の運用方針に活用した。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・休眠預金等活用国際シンポジウムについては、社会課題の解決に休眠預金等を活用する国や地域から関係者を招き、国内外から200名以上が参加した。先行する国・地域の知見や経験を共有するとともに、議事録やパネリストから寄せられた感想等をホームページに掲載し、広く情報を周知している。 ・社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査については、社会課題の解決に向けた協働を実現するために、どのようなセクターが、どのような役割で、どのような活動を通して、協働により成果実現を目指したのかについて、アメリカとカナダの事例を中心に調査した。各事例の取組を要素分解し、成り立ちからその後の維持・発展に向けて必要となった要素を共通事項として整理・検討した。 ・上記の成果を、2020年度基本計画に盛り込む2020年度の本制度の運用方針に活用した。 ・限られた予算のなかで、より効果的な成果を得られるように検討した仕様書を作成し、入札を実施したことにより、競争性の確保やコストの低減に努めた。 		
	改善の方向性	引き続き入札を実施し、競争性の確保やコストの低減に努める。入札に当たっては、不用額が生じることのないよう、より正確な経費の見積もりを努める。		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めたい。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努める。			
備考				
民間公益活動促進のための休眠預金等活用ホームページ https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/index.html				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	内閣府 新29-0001
平成30年度	15						
平成31年度	内閣府 (0016)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府 27百万円

委託【一般競争契約(総合評価)】

A.デロイトトーマツコンサルティング合同会社
10百万円

[社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査]

委託【一般競争契約(最低価格)】

B.株式会社オーエムシー
13百万円

[平成31年度「休眠預金等を活用した社会課題解決に向けた国際シンポジウム(仮)」の開催等運営業務]

委託【随意契約(その他)】

C.弁護士A
0.3百万円

[指定活用団体の監督等に関する法務相談業務]

D.事務費
3百万円

[諸謝金、職員旅費、委員等旅費、庁費]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位:百万円)

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	職員旅費	0.8	随意契約 (少額)	-	--	
2	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	職員旅費	0.3	随意契約 (少額)	-	--	
3	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	委員等旅費	0.3	随意契約 (少額)	-	--	
4	株式会社エアクレーレン	4010401004009	「休眠預金等活用国際シンポジウム議事録」の英文和訳作業について	0.3	随意契約 (少額)	-	--	
5	個人A	-	委員等旅費	0.2	その他	-	--	
6	株式会社メディアネットワーク	8010501020983	任期付職員募集のための民間サービス利用	0.2	随意契約 (少額)	-	--	
7	個人B	-	職員旅費	0.2	その他	-	--	
8	株式会社エアクレーレン	4010401004009	「休眠預金等活用国際シンポジウム議事録」の和文英訳作業について	0.2	随意契約 (少額)	-	--	
9	個人C	-	職員旅費	0.2	その他	-	--	
10	株式会社エアクレーレン	4010401004009	OECD関係英文リライト(英文校閲作業)	0	随意契約 (少額)	-	--	